

付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ情報

平成26年1月15日～20日に陸奥湾5定点で第8回付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ラーバの出現数

各地の出現数は表1、出現数の推移は図1～3のとおりです。

ユウレイボヤのラーバは奥内沖で0.8個/トン、ザラボヤのラーバは奥内沖と小湊沖で0.8個/トン見られました。

オベリア類(通称「クサ」)のクラゲは、小湊沖で1.3個/トン、川内沖で3.1～10.9個/トン見られました。

キヌマトイガイ(コメガキ)及びネンエキボヤのラーバは見られませんでした。

表1 付着生物のラーバ等の出現数

調査地点	調査月日	単位:個/トン				
		ユウレイボヤ	ザラボヤ	ネンエキボヤ	オベリア類	キヌマトイガイ
蟹田沖	H26.1.17	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
奥内沖	H26.1.16	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0
久栗坂沖	H26.1.20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小湊沖	H26.1.15	0.0	0.8	0.0	1.3	0.0
川内沖	H26.1.15	0.0	0.0	0.0	10.9	0.0
川内沖	H26.1.20	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

2 水温の状況

各ブイの1月21日の平均水温は、表2のとおりです。

表2 各ブイの中層における日平均水温(1/21)

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	9.6	東湾ブイ	5.4
青森ブイ	6.2	浜奥内ブイ	3.1

※浜奥内は10m層、それ以外は15m層の値

3 今後の見込み

ユウレイボヤのラーバは出現ピークが過ぎており、出現数も少ない状況となっています。

ネンエキボヤのラーバはいずれの地点でも確認されていませんが、久栗坂実験漁場のパールネットに付着した群体中には放出前のラーバが10月に確認されており、同時期に分散したパールネットには12月上旬から群体が確認されています。

オベリア類(クサ)は久栗坂実験漁場のパールネット等には付着が見られませんが、東湾でクラゲが多い地点もあることから注意が必要です。

今後のラーバの出現動向や付着状況については、次回(2月上旬発行予定)の情報を参考にしてください。

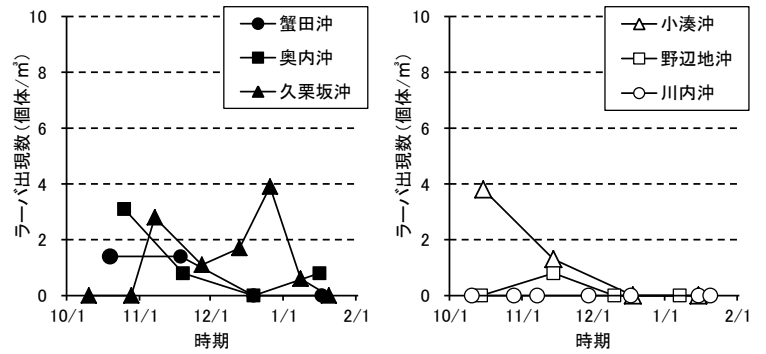


図1 ユウレイボヤラーバ出現数の推移

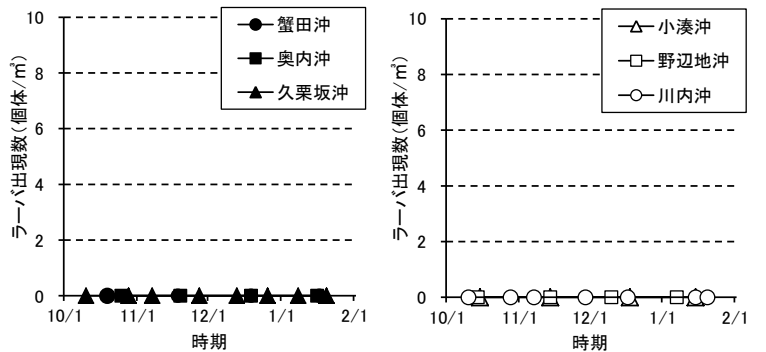


図2 ネンエキボヤラーバ出現数の推移

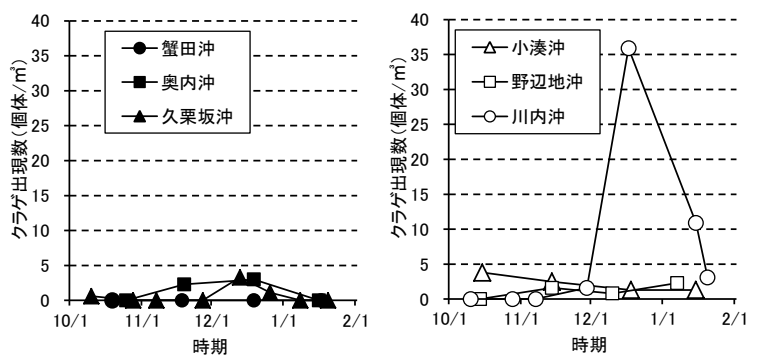


図3 オベリア類クラゲ出現数の推移



写真1 ユウレイボヤの浮遊幼生



写真2 ザラボヤの浮遊幼生



写真3 ネンエキボヤの浮遊幼生

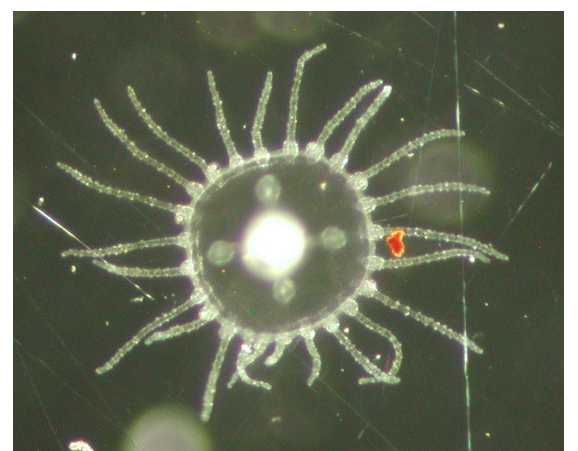


写真4 オベリア類のクラゲ

発行元: 地方独立行政法人

青森県産業技術センター 水産総合研究所

住所: 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

TEL: 017-755-2155 FAX: 017-755-2156

水産総合研究所ホームページ <http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184>

①ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード

②陸奥湾観測データ総合管理システム 携帯電話用QRコード

